

---

# 公益社団法人滋賀県社会福祉士会

## 2022年度 事業報告

---

### I 総括

長引くコロナ禍と不安定な国際情勢は人々を取り巻く社会的、経済的な状況に大きな影響を及ぼし続けています。そして、様々な福祉課題が生じるなか、人と環境との接点に介入するソーシャルワークを担う本会会員は、クライアントの生活と権利を護るために、様々なジレンマを抱えながらも、日々のソーシャルワーク実践を積み重ねています。

そのような中、2022年度は本会にとって節目の年度となりました。

本会が果たすべき社会的責任と役割が、今後より一層大きくなることに鑑み、本会会員の実践基盤をさらに整えるべく、会員の皆様のご理解、ご協力のもと、6月の総会において定款改正を行いました。そして、6月と12月の2度の総会で、定款改正に伴う規則を制定、改正することができました。

事業・活動面においては、まず、「公益事業部門」の主な事業・活動のうち、「権利擁護センターばあとなあ滋賀」では、昨年度に比べて59件多い638件を受任し（2月報告時点）、社会福祉士の支援が必要な人たちに寄り添う権利擁護支援、後見活動を丁寧に積み重ねてきました。

また、「高齢者・障害者虐待対応支援ネット」による専門職チームでは、困難事例への相談対応、虐待対応ケース会議での助言など、10市1町に対して51回の高齢者・障害者の権利擁護に関わる支援を展開しました。

子ども家庭福祉分野では、多問題家族の支援における、他職種による多様なつながり、福祉の「縦割り」を超えた支援の展開のために、子ども家庭分野から他分野の社会福祉士、会員外の関係機関や諸団体との協働促進を図るべく、対面式での交流会形式での研修会を実施しました。

そして、重層的支援体制整備事業の取組みが、各自治体において徐々に進む中、その体制整備の一環として滋賀県から受託した「包括的相談支援従事者サポート事業」によって、相談支援者を対象とした面談、アウトリーチによる相談・助言をはじめ、研修会、事例検討会を開催して、「支援者支援」を展開しました。

「社会福祉士養成支援」では、コロナ禍における開催方法を適時・適切に判断しながら受験対策講座、模擬試験を実施し、未来の社会福祉士の養成支援に取り組みました。実習指導者養成研修においては、新カリキュラムによるテキストとプログラム改編、コロナ禍の影響を受けて多くの苦勞を伴いながら、21名の修了者を送り出すことができました

次に「収益事業部門」では、利用者とその家族がより安心できるサービス提供について事業者の関係者と調査員である会員が共に考えることを大切に、「認知症高齢者グループホームの外部評価」と「福祉サービス事業所の第三者評価」に取り組みました。

最後に「相互扶助事業部門」では、生涯研修センターにおいて新規入会者及び認定社会福祉士を目指す会員の研修に取り組みました。昨年度は、ハイブリッド方式で開催しましたが、今年度は2年ぶりの集合・対面方式で実施することができました。

その結果、合計83名（基礎研Ⅰ：40名・基礎研Ⅱ：24名・基礎研Ⅲ：19名）に受講していただくことができました。

委員会活動においては、高齢者生活支援委員会、障がい児・者生活支援委員会、生活困窮者支援委員会を統合した「共生社会推進委員会」が、対面方式での「会員実践交流会」を開催し、34名の会員が参加しました。

また、「滋賀県ソーシャルワーカー3団体研修会」や「滋賀県介護のしごと魅力発信事業『しがけあ』」への参画など関係機関・団体と連携した取り組みを行いました。

このように2022年度は、会員の皆様のご協力とご尽力により、コロナ禍での制約を受けながらも、集合・対面方式での「顔の見える関係づくり」に向けた事業・活動に踏み出すことができました。

2023年度は、本会設立30周年の記念すべき年にあたり、そして、新たな役員体制となります。新たな体制のもと、会員の皆様の参画により、定款に掲げる「社会福祉の援助を必要とする滋賀県民の生活と権利を擁護」し、「滋賀県内における社会福祉の増進に寄与」すべく、本会の事業・活動を進めて参ります。

## II 事業報告

### 【公益事業】

#### 1. 社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業

##### (1) 成年後見制度の普及活動と後見受任者の質の向上への取り組み

県下の権利擁護ニーズに応えるため、また、会員の権利擁護対応の質の担保及び向上のため、下記の内容にて「権利擁護センターばあとなあ滋賀」（以下「ばあとなあ滋賀」という）の活動の充実・強化を図りました。2022年度の権利擁護センターとしての体制は以下の通りです。

センター長	奥村 昭（滋賀県社会福祉士会会長）
ばあとなあ滋賀運営委員長	大原薫男
ばあとなあ滋賀事務局長	横田章夫
権利擁護担当理事	村田才司（滋賀県社会福祉士会副会長）
権利擁護担当理事	尾崎 史（滋賀県社会福祉士会副会長）
権利擁護担当理事	竹村直人

##### 1) ばあとなあ滋賀（部会活動）の充実・強化

###### ①後見活動の実施

2022年度時点（2月報告時点）でばあとなあ滋賀会員154名、後見353件、保佐213件、補助67件、任意後見5件、監督0件、あわせて638件を受任（昨年度同時点で579件）。

後見人が一人で全責任を負うこととなる後見活動の内容をばあとなあ定期報告チェック部会にてチェックするとともに、下記定例会において後見実務の質問や情報交換を行うことができる場を確保し、必要に応じ対応策の助言、意見交換を行っています。

昨年度に引き続き、成年後見人材育成研修を実施し、ばあとなあ滋賀としての担い手の確保に取り組むようになり、今後も会員数が増加する見込みであることから、地区毎にブロック研修を行い、少しでも顔の見える関係を構築し、定例会への参加呼びかけや、会員間の情報交換、支援の体制が取れるよう努めました。

###### ②定例会の開催 6つのブロックそれぞれでの開催へ

昨年度より定例会を6つのブロックでの開催に切り替え、それぞれのブロックの運営委員による定例会開催が実施されております。主に（ア）運営委員会の報告、

(イ) 家庭裁判所からの推薦案件についての情報共有、(ウ) ばあとなあ滋賀会員のフォロー…後見事務に関する質問や情報交換、(エ) 会員の後見活動の質の向上を目的としたブロック毎の研修企画・開催について、を主な内容としています。

### ③運営委員会の開催と体制整備

地区担当者及び権利擁護担当理事が運営委員となり、毎月の定例会がブロック毎に開催となり、運営委員会を分けて毎月第2土曜日の午後1時～ZOOMで開催しました。運営委員会では、主にばあとなあ滋賀の組織運営に関わる決定事項を検討し、2022年度上半期では総会にての決議が必要な、「ばあとなあ滋賀運営規程」及び「ばあとなあ滋賀名簿登録規程」をひとまとめとした「ばあとなあ滋賀運営規則」(案)を理事会に提出しましたところ、令和4年6月での総会にて決議されました。また、ばあとなあ会員の後見活動に関し、福祉関係機関その他の機関からの苦情等がある場合等にその対応について協議を行いました。さらに、そのようなばあとなあ会員の後見活動について、必要な場合は運営委員複数で当該会員の面談を実施し、課題の洗い出し、意見聴取、対応協議等を組織的対応の中で実施しました。特に成年後見制度の利用促進に関する国の動き、県の動き、各市町の動きに注視し、今後、中心となる中核機関にばあとなあ滋賀がどう関わっていくかについても対応協議をしております。

今後は体制整備の上で必要となるばあとなあ滋賀「部会に関する規則」を始めとする諸規定を整備し、会全体としても取り込まれる苦情解決、業務監査の部分、そして会員の後見事務に関するチェック機能、フォローアップなどに取り組み、制度を利用されるご本人の権利を擁護し、後見事務の質の担保に繋がる取り組みをしてまいりたいと考えます。

運営委員長(担当理事)大原薫男

副運営委員長 川口敏男

#### <地区担当運営委員>

湖東北ブロック ブロック長 山内克仁 副ブロック長 西川由香里、岡村明子

湖南ブロック ブロック長 重田直美 副ブロック長 田中美穂子

大津ブロック ブロック長 川口敏男 副ブロック長 佐藤順子、中村要

高島ブロック ブロック長 杉島隆 副ブロック長 石倉しのぶ

東近江ブロック ブロック長 村松政子 副ブロック長 安居和子

甲賀ブロック ブロック長 藤井陽子 副ブロック長 望月俊有

#### <ばあとなあ滋賀事務局>

事務局長 横田章夫

事務員 久保香奈子

#### <相談役 権利擁護担当理事>

村田才司 尾崎 史 竹村直人

### ④関係機関との連携、何でも相談会への相談員派遣

家庭裁判所との連携を密にし、他機関や県民からの成年後見制度に関する相談や依頼に対応するための体制を整備しました。特に2019年度より実施されている三士会(弁護士会、司法書士会、社会福祉士会)と家庭裁判所裁判官及び主任書記官との意見交換には、大原運営委員長及び大津・湖南ブロックの運営委員、横田事務局長が参画し、「担い手の確保・後見人等への報酬の算定・減算加算の検討について」や市町の報酬助成について、第2期成年後見制度利用促進計画についてもそれぞれ触れられ情報共有を行ないました。

また、県内福祉圏域のほぼ全てで、高齢者や障害者を対象とし、様々な士業や専門職が集まり相談に応じる総合相談が実施されるようになったことで、社会福祉士にも福祉や成年後見、権利擁護に関する専門職として相談員派遣要請がなされています。地域のニーズに応えること及び相談対応をおこなった会員の質の向上並びに他専門職

とのネットワークの構築を目的として、運営委員会を通して各ブロックにて人員を広く募り、積極的に会員派遣を行いました。

＜三士会との協議＞

2022年5月13日（金） 午後4時～ 大原委員長 川口運営委員

2022年7月22日（金） 午後4時～ 大原委員長 重田・田中両運営委員

2022年10月7日（金） 午後4時～ 大原委員長 横田事務局長

＜近畿ブロックぱあとなあ連絡協議会＞

2022年10月15日午後1時～ ZOOM 村田副会長 横田事務局長

＜都道府県ぱあとなあ連絡協議会＞

2022年10月29日（土） 午前10時30分～

## ⑤部会活動の充実

### ア. 研修部会

ぱあとなあ滋賀会員が社会福祉士としてその倫理綱領、行動規範を基に成年後見活動が行なわれるよう研鑽を深め、知識と技術の習得を重ねられるよう、年度を通して研修の場を企画しています。また名簿登録に関して更新研修の義務化に向け、準備を進めています。

＜研修企画会議＞

・部会員で研修の企画運営打ち合わせ。

随時ZOOMによる打ち合わせを実施しました。

### イ. 法人後見部会

一昨年度法人後見事業に向けて、法人後見事業を実施している法人等の状況を把握しながら一定の方向性をまとめ、中間とりまとめを作成しました。今後も検討を重ね、体制整備を進めます。

### ウ. 成年後見人材育成研修及び名簿登録研修

＜準備委員会＞

随時ZOOMによる打ち合わせを実施しました。

（内容）

・具体的な内容、流れについて・日程の決定・講師候補・体制づくり

・タイムスケジュール・募集要項・外部講師依頼・スケジュール確認

・受講者向け日程案内・事前課題の確認・事前課題スケジュール・当日の確認

2022年11月5日（土） 採点終了後、対面で名簿登録研修打ち合わせ

・そのほかチャットワーク（アプリ）を使った情報の共有や打ち合わせ

・研修当日、終了後随時打ち合わせ

＜研修日程＞

2022年8月6日（土）

2022年9月2日（金）

2022年10月1日（土）

2022年11月5日（土）

＜名簿登録研修日程＞

2022年12月17日（土）

### エ. 名簿登録更新研修の実施

2023年3月4日（土）105名参加

## 2) 県民のための成年後見制度活用セミナーの開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催できませんでした。

## 3) 近畿ブロックとの調整

・近畿ブロックぱあとなあ担当者会議への参加

2022年10月15日（土） 出席者 村田副会長 横田事務局長

【議題】

- ア) 各府県における成年後見制度利用促進計画の進捗状況を意見交換する。
- イ) 近畿ブロック各府県の成年後見新人育成研修、継続研修の取り組み内容を確認。
- ウ) 各府県におけるばあとなあへの苦情対応に関する情報交換。
- エ) 近畿ブロック間での連携体制の検討

## (2) 高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動

滋賀弁護士会とともに、契約先自治体担当課や地域包括支援センターへの虐待対応ケース会議での助言、困難事例への相談対応など、高齢者・障害者の権利擁護事業に関わる支援を行いました。

2022年度は、社会福祉士20名、弁護士13名の計33名で活動しています。

### 1) 契約先市町の状況

2022年度契約市町（10市1町 高齢・障害とも契約）

【高齢者・障害者の契約市町】

長浜市、米原市、愛荘町、近江八幡市、甲賀市、湖南市、野洲市、守山市、栗東市、草津市、高島市

### 2) 活動内容

#### ① ケース会議等への派遣回数

長浜市5回、米原市1回、愛荘町0回、近江八幡市8回、甲賀市3回、湖南市0回、野洲市3回、守山市0回、栗東市2回、草津市15回、高島市14回

#### ② 定例会の開催

2か月に1回、専門職チームに所属している社会福祉士及び弁護士が、運営上の課題等について協議を行っています。今年度は5月11日（水）、7月13日（水）、9月14日（水）、11月9日（水）、1月11日（水）、3月8日（水）にオンラインで実施しました。

#### ③ 運営委員会の開催

2～3か月に1回、社会福祉士会の運営委員が専門職チームにおける社会福祉士としての課題解決に向けた協議を行っています。

運営副委員長：尾崎史（運営委員長は弁護士会 室田剛志氏）

運営委員：小川学、桐高とよみ、坂口航一郎

#### ④ 研修会の開催

自治体への対応力向上に向けたチーム全体のスキルアップを目的とした研修を開催しました。

10月10日（月）

「助言場面のロールプレイ」講師：小川学

「効果的な助言を行うための姿勢について」講師：関守英幹

3月18日（月）

「助言に迷いがちな事例検討～グループワーク～」講師：支援ネット内研修部員

#### ⑤ 事例検討会

会員の育成を目的とした事例検討等勉強会を4月6日（水）、6月8日（水）、8月10日（水）、10月2日（水）に実施しました。

#### ⑥ 助言についての検証会

市町への派遣後の振り返りを目的とした検証会を10月24日（月）、10月27日（木）、2月16日（木）、2月27日（月）実施し、助言のスキル向上や社会福祉士として抑えておくべき点などの確認を行いました。

## (3) 養護者による高齢者虐待対応初任者研修会の開催

高齢者虐待防止法に基づき、養護者による高齢者虐待対応にあたる市町や地域包括支援センター等の初任者（概ね入職2年以内の新任者）等が、対応にあたる上での法的根拠、専門的視点、技術等を習得し、実践力の向上を図ることを目的として開催しました。

開催日：2022年5月18日（水）9:30～16:40

会場：大津合同庁舎7D会議室

参加者：30名

#### （４）子ども家庭福祉に関わる社会福祉士の連携を継続できる基盤づくり

子どもの権利擁護と地域における子ども家庭支援を担う社会福祉士としての力量を高めるために、会員相互のネットワークを構築し、情報交換、相互支援、研鑽等を行なうとともに、子ども家庭福祉の推進に向けた活動の推進を図っています。

##### 1)コア会議

子ども家庭福祉委員会のコアメンバーを形成し、委員会活動全般について協議予定。

- ① 子ども家庭支援研修会の企画（子ども若者・地域養護含む）  
2022年7月2日 コア会議（大原・中島・上村） 企画運営に関する協議
- ② 学校園等におけるいじめ対策、調査への推薦依頼に対する体制構築
- ③ いじめ問題に関する社会福祉士としての実践報告等の情報提供 適宜
- ④ SSW養成研修に向けての県教委との意見交流 適宜
- ⑤ 滋賀としてのSSW養成に関する調査研究  
→SSW実践ガイドライン研修 日本社会福祉士会 子ども家庭支援員会参加  
2022年度は不参加

##### 2)子ども家庭福祉研究会の開催

2021年までは、児童福祉分野で働く社会福祉士のつながりづくりを目指し、研修及び実践交流を中心に行なってきましたが、近年「ヤングケアラー」「共生社会の実現」「重層支援」など家族の多問題の解決に、他職種による多様なつながり、福祉の縦割りを超える必要があります。

そこで、当委員会としては「児童家庭分野」から他の福祉分野の社会福祉士、会員外の関係機関諸団体との協働促進を目的として、今年度は「交流会形式」を実施しました。コロナ禍、エッセンシャル worker の立場でありながら出会いや学びの場がコロナ禍感染拡大により減少したため、あえて対面型で実施したことにより、出会いの場となりました。参加者からは、今後も連携協働が、促進されるさきがけのために、交流会的な研修に期待したいと感想頂きました。

- ① 子ども家庭支援委員会研修会（2022年10月15日）  
会場：滋賀県立県民交流センター（ピアザ淡海 203号室）  
パネルディスカッション形式～ 家族支援・連携協働に関すること  
・岩田俊幸氏（元子ども家庭相談センター所長）所業でご欠席  
・中川太陽氏（草津市家庭児童相談室）  
・大原薫男氏（大津市社協子ども若者担当）  
・恒松睦美氏（草津市SSW・NPO法人あめんど）  
参加者：24人（弁護士・里親・家庭児童相談員・保育士・教師・養護教諭・SSW  
市議・成年後見人・就労支援サポセン・フリーライター・子ども食堂代表等）  
※社会福祉士会会員以外の方は、参加費500円徴収  
県下の多様な支援者が一同に会し、各自意見交流が出来ました。根幹ある大切にす視  
点について多くの共感が得られ、多様な職種との対面の場でもあり、エンパワメントが促  
進されたという声が多数聞かれました。

#### （５）事業所等相談アドバイス事業の実施

滋賀県再犯防止推進計画の一環（国のモデル事業になっています）として、社会福祉士会が事務局を担い、県行政や専門家チーム（ASB：「反社会的行動を伴った障がい者」に対する地域支援検討委員会）と連携し、地域で犯罪行為歴のある人を支援している人への「支援者支援」を実施しました。

- ①相談受付：5件
- ②インテーク訪問：5件
- ③検討委員会：1件
- ④アドバイス実績：23回
- ⑤薬物依存症支援ネットワーク連絡会への参画：3回
- ⑥支援者向けQ&A冊子の活用

「警察にお世話になりそうな人からなった人まで ～刑事司法にかかわる福祉支援者のためのハンドブック～」を発行し、支援者への啓発と支援に役立てていただけるよう活用しました。

## (6) 包括的相談支援従事者サポート事業の実施

この事業は、滋賀県の「令和4年度重層的支援体制整備に向けた取組」の中で、本会が県から受託し実施しています。

### 1) 事業内容

複雑で複合的な課題をもつ人の支援者に対し、寄り添い、ともに考え、支える「支援者支援」をケース検討やケースの振り返りなどを通じて行うとともに、実際に福祉の現場でソーシャルワークの実践を担っておられる支援者の知識・スキルの向上のための研修を実施しています。

この取り組みを本会が行う魅力は、多様な職種で構成されている本会会員のネットワークを活かし、幅広い視点や情報を集め、さらに会員の経験や今までの類似事例を参考にすることなどで、実践的なアドバイスができることにあると考えます。

このため、多職種連携が必要なケースや処遇困難ケースへのアドバイスから、支援者が日常的に抱える様々な困りごとに対しても、きめ細やかに対応することを目指しています。

### 2) 事業実績

今年度についても、コロナ感染防止対策として、アドバイス内容の検討会や研修についてはZOOMなどのオンラインで開催するなど感染防止に工夫しながら実施するとともに、感染防止対策を行ったうえで、対面による会議や、相談の受付も行いました。

特に研修につきましては、前半はZOOMでのオンライン研修でしたが、対面実施によるメリットもあるということも考え、今年度後半に実施する研修は、対面による実施を行いました。

この事業の実施については、昨年までは相談申込があればその都度、対応可能な会員に依頼して実施いたしておりましたが、今年7月に事業に参加いただける会員を募り、実施体制を構築いたしました。

現在22名の会員の方にご参加いただき、令和4年9月から定例での事業担当者会議やチャットワークというビジネスチャットに全員が登録して相互に連絡や情報交換、相談実施の日程調整などを行っています。

#### ①相談支援者を対象にした、面談、アウトリーチによる相談・助言

- ・対面による相談支援受付1件

地域包括支援センター…1件受付：相談支援5名参加・事前検討会議8名参加

- ・ZOOMによる、ケース検討会議 3件

相談支援参加者9名

#### ②事業推進にかかる会議の実施

(令和4年9月からは事業実施体制が整い、事業担当者会議として実施できた。)

- ・事業実施会議の開催：2回

2022年4月20日 会長、事務局長、事業実施会員4名(6名参加)

7月4日 会長、副会長、事務局長、事業実施会員5名(8名参加)

- ・事業担当者会議の開催：4回

2022年9月7日 第1回会議を開催(8名参加)

11月2日 第2回会議を開催（7名参加）

2023年1月25日 第3回会議を開催（9名参加）

2023年3月1日 第4回会議を開催（8名参加）

③研修会・事例検討会の実施 2回実施

[第1回]

開催日：2022年9月21日（水）13:30～15:00

ZOOM オンライン研修（アセスメントとアプローチの研修）

研修演題「寄り添った家族支援のために」三つの家を使った支援

講師：子ども・家族・援助者のパートナーシップ研究会 社会福祉士 寺田 陽子氏

参加者：23名（募集定員20名） スタッフ：3名

ZOOM拠点 県長寿社会福祉センター 第1教室

[第2回]

開催日：11月22日（火）13:30～15:00 対面で実施

研修演題「寄り添った家族支援のために」三つの家を使った支援

講師：子ども・家族・援助者のパートナーシップ研究会 社会福祉士 寺田 陽子氏

参加者：8名 スタッフ3名

場所：県長寿社会福祉センター 1階 大教室

④事業啓発

- ・事業の啓発チラシと相談サポート申込書を各市町と社協および本会会員に配布した。
- ・申込書類等をネットでも入手し申し込みができるよう、本会ホームページにバナーを設置した。
- ・県の多機関協働事業担当者会議で、本会事業の説明周知と啓発を行った。

⑤その他

- ・滋賀県担当者との事業協議 4月22日 10:00～12:00

事務局長、担当理事

場所 長寿社会福祉センター 1階 会議室

内容：事業内容の確認

（研修年2回開催、相談支援事業の実施、アドバイス検討会議の実施、事業啓発）

- ・本事業参加会員の募集及び事業説明会 7月13日（水）10:00～ 16名参加

事業内容説明：滋賀県担当職員、事業運営説明：本会担当理事、保険等説明：事務局長

## 2. 社会福祉の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等

### （1）県民への社会福祉に関する知識及び技術の普及

#### ①県民向け公開講座の開催

ア 県民のための成年後見制度活用セミナーの開催（再掲）

- ・開催できなかった。

イ ソーシャルワーカーデーの開催

- ・「海の日」（2022年7月18日）の前後に開催を計画していた滋賀県内ソーシャルワーカー3団体（滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県精神保健福祉士会、滋賀県社会福祉士会）共催の「ソーシャルワーカーデー」は、コロナ禍により開催できませんでした。

### （2）社会福祉および社会福祉士に関する調査研究

#### 1) 共生社会推進委員会の設置・運営

高齢者生活支援委員会、障がい児・者生活支援委員会、生活困窮者支援委員会を「共生社会推進委員会」に統合し、社会福祉の幅広く多様な分野、領域で実践をしている会員同士のソーシャルワーク実践の共有と学び合いを積み重ね、必要に応じた施策提言や発信を行うことを目的に「共生社会推進委員会」を設置しました。

【委員】猪飼立子、磯崎圭一郎、大淵誠、★奥村昭、上村文子、河岸寛之、  
更科市子、杉本直樹、藤田知幸、松井邦夫、宮下盛一郎、山内克仁、  
山浦文乃（五十音順、敬称略 ★は委員長）

#### ①委員会の開催

[第1回]

開催日：2022年8月28日（日）10:00～11:30

会場：コラボしが21 3階ミーティングルーム2

内容：2022年度事業計画に基づく共生社会推進委員会の活動について（意見交換）

[第2回]

開催日：2022年10月4日（火）19:00～20:30

会場：ZOOM（オンライン）

内容：実践交流会の企画について

[第3回]

開催日：2022年10月25日（火）19:00～20:45

会場：ZOOM（オンライン）

内容：実践交流会のテーマについて  
研修に関する提案について

[第4回]

開催日：2022年11月23日（水）18:00～19:30

会場：ZOOM（オンライン）

内容：実践交流会のテーマと進め方について

[第5回]

開催日：2022年2月17日（金）19:00～20:15

会場：ZOOM（オンライン）

内容：実践交流会の進め方について

#### ②第1回会員実践交流会の開催

開催日：2023年3月11日（土）13:20～16:40

会場：G-NETしが（男女共同参画センター）研修室A・B・C

参加者：34名（参加者21名、話題提供者6名、委員7名）

テーマ：

A 社会福祉士の「モヤモヤ」について

話題提供者：坂本彩さん（彩社会福祉士事務所）

B 社会福祉士の魅力について

話題提供者：河岸寛之さん（特別養護老人ホームヴィラ十二坊）  
松井邦夫さん（社会福祉法人グロー）

C 「家族」への関わりについて

話題提供者：上村文子さん（滋賀県教育委員会）  
（スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー）

D 「死」との向き合い方～ターミナル期の受け止めとから

話題提供者：更科市子さん（居宅介護支援事業所 一念）

E 独立型社会福祉士の実践について

話題提供者：島田一子さん（相談支援事業所はれるや）

#### 2) 制度政策委員会

滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会（事務局：県社協）に委員として参画し、滋賀

県に対する社会福祉施策・制度に関する要望を行いました。

①滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会への参画

[第1回]

開催日：2022年6月6日（月）14:00～16:00

会 場：県立長寿社会福祉センター

出 席：奥村会長

②滋賀県健康医療福祉部長への要望

開催日：2022年9月16日（金）13:00～14:30

会 場：滋賀県大津合同庁舎7D会議室

出 席：奥村会長

※参考 県議会各会派への要望

[自由民主党]

開催日：2022年6月7日（火）…協議会の正副会長で実施

[チームしが]

開催日：2022年8月25日（木）…欠席

<要望事項>

①子ども若者ケアラーに関する総合的な施策化の推進

②第二期成年後見制度利用促進計画の着実な推進—地域共生社会を推進する担い手としての市民後見人養成スキームの検討—

### (3) 社会福祉士の養成支援

#### 1) 社会福祉士養成支援委員会

専門知識を有した社会福祉士を養成することを目的とします。

社会福祉士国家試験を受験する人に対し、受験対策講座および全国統一模擬試験を実施しました。

また社会福祉士の養成に必要な現場実習が実りの多いものとなるよう、実習指導者の育成を目的とした実習指導者講習会を実施しました。

①社会福祉士実習指導者講習会の運営

開催日 2022年9月3日（土曜日）と9月10日（土曜日）

開催方法 感染症の流行がみられたためZOOMによるオンラインによる開催に変更した。一部オンラインへの対応の難しい受講生に対して、当初の開催予定会場であるピアザ淡海に端末を設置して対応した。

カリキュラム及び講師

実習指導概論：岡本 芳也

実習マネジメント論：藤田 和幸

実習プログラミング論：佐藤 順子

実習スーパービジョン論：川島 洋

受講者 21名受講・修了

②社会福祉士国家試験受験対策講座の実施

受講者 15名

日付	曜日	10:00～ 11:00	11:10～ 12:10	13:10～ 14:10	14:20～ 15:20	15:30～ 16:30
8月6日	土	⑤地域福祉の理論と方法 藤田和幸		⑩社会調査 の基礎 藤田和幸	②心理学理論と心理的支援 横江一志	

8月13日	土	⑨低所得者に対する支援と生活保護制度 大岡紳浩		①人体の構造と機能及び疾病 山内克仁	⑩保健医療サービス 山内克仁	
8月27日	土	⑥福祉行政と福祉計画 横井弘隆	⑦社会保障 横井弘隆	⑮福祉サービスの組織と経営 横井弘隆	⑧障害者に対する支援と障害者自立支援制度 山田宗寛	
9月10日	土	⑬相談援助の基盤と専門職 岡本芳也		⑰児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 岡本芳也	⑪権利擁護と成年後見制度 葛城朋子	
9月24日	土	④現代社会と福祉 増田譲治		⑭相談援助の理論と方法 増田譲治	⑲更生保護制度 山内克仁	
10月1日	土	⑱就労支援サービス 城貴志	③社会理論と社会システム 藤田和幸	⑯高齢者に対する支援と介護保険制度 関守英幹		

### ③社会福祉士国家試験全国統一模擬試験の実施

開催日 2022年11月5日  
会場 長寿社会福祉センター  
受験者 15名

### ④社会福祉士養成支援委員会の開催

#### 第1回

開催日 2022年5月27日（金）  
会場 大津市市民活動センター（オンライン併用）  
参加者 7名  
議題 実習指導者養成研修について 講師の確保等  
実習指導者のフォローアップ研修について

#### 第2回

開催日 2022年8月27日（土）  
会場 大津市市民活動センター（オンライン併用）  
参加者 6名  
議題 実習指導者養成研修の具体的開催方法の検討

### ⑤近畿ブロック実習指導担当者会議への参画

2022年10月29日 川島委員  
2023年3月25日 川島委員

## （4）研修講師派遣事業（有償出前講座）

滋賀県社会福祉協議会介護福祉人材センター/福祉研修センター主催の『福祉・介護従事者（事業所）のための「研修講師派遣事業」』に協力団体として登録しました。

## （5）傍楽体験事業の実施

「コミュニケーションが苦手」「働くことに不安がある」など働きたいけれど不安を感じておられる方々が、はじめの一步を踏み出せるきっかけにつなげていくことを目的に、「傍楽体験事業」を実施しました。

毎月第2木曜日発行の事務局通信の封入・発送作業を通じた、「小さな働く場」づくりに取り組んでいます。

実施回数 13回

参加人数 37名（延べ参加者84名）

## 【収益事業】

### 1. 社会福祉事業のサービス評価

#### (1) 滋賀県健康福祉サービス第三者評価事業への参画

滋賀県が2000年から取り組んでいる「滋賀県健康福祉サービス第三者評価事業」は、事業者が自らのサービスについて評価する「自己評価」、事業者でも利用者でもない第三者の評価機関が評価する「第三者評価」等があり、事業者自らの取組により、健康福祉サービスの質の向上を図るとともに、利用者によるサービス選択に資することを目的としています。

本会も2017年12月に滋賀県第三者評価機関の認証を取得し、県内の福祉サービス事業所（介護事業所・障害福祉事業所・保育園等）を対象とした福祉サービス第三者評価事業に取り組みます。

#### (2) 認知症高齢者グループホームの外部評価の実施について（第三者評価委員会の活動の充実・強化）

本会は、2005年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受けて調査・公表を実施してきました。2007年度からは、「地域密着型サービス」の外部評価機関として活動しています。2009年度からは、外部評価の実施回数や自己評価項目・外部評価項目等の見直しが行われ、地域密着型サービスが「介護サービス情報の公表」制度の適用対象となり、本会も必要な対応を行いました。

2012年度の診療報酬・介護報酬の同時改定により地域密着型サービスの事業所要件や報酬が見直しされたこと等があり、本会としても高所大所から再考し、調査費用の見直しや調査員の拡大などに取り組み、第三者評価事業への貢献度を一段と高めることとしました。

本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員が調査員となり利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしています。

#### 1) 認知症高齢者グループホームの外部評価ならびに公表

##### 【調査実施日】

①GH緑の癒	2022年6月27日（月）
②GHみなくちみんなの家	2022年10月11日（火）
③GH万葉の里	2022年11月1日（月）
④GH安寧	2022年11月7日（月）
⑤GHはるか	2022年11月21日（月）
⑥GH檀那木	2022年12月5日（月）
⑦ひらたGH翔裕館	2022年12月19日（月）
⑧南ひこねGH翔裕館	2022年12月20日（火）
⑨北ながはまGH翔裕館	2023年1月16日（月）
⑩GHやすらぎの郷	2023年1月23日（月）
⑪GH雅荘	2023年2月28日（火）
⑫GHみちくさ	2023年3月6日（月）
⑬GHさくらテラス	2023年3月7日（火）
⑭GHそまがわ	2023年3月20日（月）
⑮南郷GHほたる	2023年3月27日（月）
⑯GHまごころ・土山	2023年4月17日（月）

#### 2) 福祉サービス事業所の第三者評価

- ①社会福祉法人虹の会「アイリス」

2022年9月15日(木)・16日(金)調査

②株式会社Jフリード「訪問介護事業所つながり」

2022年11月1日(月)調査

③株式会社日本保育サービス「アスク御殿浜保育園」

2022年11月28日(月)調査

④株式会社日本保育サービス「アスク大津京保育園」

2022年11月29日(火)調査

⑤大津市立朝日が丘保育園

2022年12月1日(木)・2日(金)調査

⑥大津市立伊香立保育園

2022年12月12日(月)・13日(火)調査

### 3) 第三者評価機関・調査員の資質の向上にむけた取り組み

・第三者評価委員会において情報交換及び研修の実施

### 4) 地域密着型サービス事業所へのPR活動の取り組み

・新規事業所に対する活動…県からの指定情報の提供を受けて、直ぐにPRチラシを郵送する。

・新規に受託した事業所に対するPR活動…初めて受託した事業所に対しては、事前に事業所を訪問し説明会を行っている。

#### ○評価件数の推移

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
福祉サービス件数	—	—	—	—	—	—	3件	3件	2件	6件
グループホーム件数	11件	12件	12件	5件	10件	6件	9件	5件	10件	16件

## 【その他の事業】(相互扶助等事業)

### 1. 社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上

#### (1) 生涯研修センター運営委員会

社会福祉士は専門職として、政策・制度や福祉ニーズの変化に対応し、また質的にも利用者からの信頼に耐え得るソーシャルワーカーを目指して、常に自らの専門性を向上させていく必要があります。そのため、日本社会福祉士会では1999年度より生涯研修制度を開始し、2012年度より滋賀県社会福祉士会が所属する会員の社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを支援するために、生涯研修の情報や機会を提供することとなりました。

生涯研修制度は基礎課程、専門課程の2つの課程からなり、基礎課程は滋賀県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程となっており、本年度は基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲを実施しました。研修実施のため、運営委員会を開催し、円滑に研修を実施できるよう調整を行いました。なお、基礎研修講師および、ファシリテーターとして年間延べ講師37名、ファシリテーター47名が研修に関わりました。

なお、本会として以下の4項目を基本的な考え方として研修を行うこととしました。

- 1 滋賀県社会福祉士会会員自身が互いに育てあう関係での研修を実施する
- 2 社会福祉のプロとして自身の振り返りの場としての研修へ参加する
- 3 社会福祉のプロとして自身の業務の発信の場(講師となって自らの業務を発信する)とする
- 4 様々な部門の者が集い、連携構築を図る場とする

#### 1) 生涯研修センター運営委員会(集合研修講師・研修委員会・事務局会議・近プロ大会)

**の開催**

2022年5月8日(日) オンライン会議(講師・ファシリテーターミーティング)  
 2022年6月28日(火) オンライン会議

**(2) 会員研修の実施**

**1) 新規入会者及び認定社会福祉士を目指す社会福祉士に対する基礎研修Ⅰの実施**

受講者数 40名

開催日	時間	科目
2022年10月8日(土) (対面)	9:30~16:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士会のあゆみ 講師:奥村 昭</li> <li>・日本社会福祉士会、滋賀県社会福祉士会の組織 講師:横田 章夫</li> <li>・生涯研修制度 講師:木村 真由子</li> <li>・社会福祉士の専門性について考える 講師:井上 良信</li> </ul>
2023年1月21日(土) (対面)	9:30~16:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士に共通する専門性の理解 講師:谷口 卓也</li> <li>・倫理綱領・行動規範の理解 講師:井上 良信</li> <li>・社会福祉士の倫理綱領の実践適用 講師:町野 ひろ子</li> </ul>

**2) 基礎研修Ⅱの実施 受講者数 24名**

開催日	時間	科目
2022年5月21日(土) (対面)	9:30~13:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助の視座と展開過程(オリエンテーションを含む) 講師:西倉 邦浩</li> </ul>
2022年6月18日(土) (対面)	9:30~16:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践のためのアプローチ 講師:上村 文子</li> <li>・自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク 講師:横井 弘隆</li> </ul>
2022年7月9日(土) (対面)	9:30~16:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合研修1「実践事例演習」 講師:桐高 とよみ</li> </ul>
2022年7月30日(土) (対面)	9:30~16:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資源の理解と社会資源開発 講師:中原 一隆</li> <li>・連携システムのあり方とネットワークの構築 講師:北垣 由桂</li> </ul>
2022年8月27日(土) (対面)	9:30~16:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における福祉政策と福祉計画 講師:関守 英幹</li> <li>・社会福祉調査の方法と実際 講師:磯崎 圭一郎</li> </ul>
2022年9月17日(土) (対面)	9:30~16:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパービジョンとは</li> <li>・スーパービジョンのモデルセッションを見る</li> <li>・スーパーバイザー体験 講師:池田 周平</li> </ul>
2022年10月8日(土) (対面)	9:30~13:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践研究の意義と方法 講師:乾 昌典</li> </ul>
2022年10月29日(土) (対面)	9:30~16:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践研究のための記録 講師:山浦 文乃</li> <li>・実践評価の方法</li> </ul>

		講師:上村 文子
2022年11月19日(土) (対面)	9:30~16:50	・実践研究発表の方法 講師:奥村 昭
2022年12月17日(土) (対面)	9:30~16:50	・社会福祉における法Ⅰ 講師 木村 真由子 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ 講師:竹村 直人
2023年1月21日(土) (対面)	9:30~16:50	・社会福祉における法Ⅱ 講師:田村 幸司 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ 講師:中村 真理

### 3) 基礎研修Ⅲの実施 受講者数 19名

開催日	時間	科目
2022年5月21日(土) (対面)	9:30~16:50	・対人援助と事例研究 ・事例研究の基本枠組み 講師:磯崎 圭一郎 ・事例研究の方法としてのケースカンファレンス 講師:磯崎 圭一郎
2022年6月18日(土) (対面)	9:30~16:00	・事例研究のための事例のまとめ方 講師:谷口 周作 ・実践事例研修Ⅱ 講師:磯崎 圭一郎
2022年7月9日(土) (対面)	9:30~15:30	・模擬事例検討会 講師:山口 浩次
2022年7月30日(土) (対面)	9:30~16:50	・意思決定の支援 講師:坂本 彩
2022年8月27日(土) (対面)	9:30~16:50	・地域における福祉活動 講師:奥村 昭
2022年9月17日(土) (対面)	9:30~16:50	・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営 講師:高田 佐介 ・福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント 講師:村田 才司
2022年10月8日(土) (対面)	9:30~13:00	・リスクマネジメント、苦情解決システム 講師:磯崎 圭一郎
2022年10月29日(土) (対面)	9:30~16:00	・事例研究(苦情・リスク・サービス評価) 講師:島田 一子
2022年11月19日(土) (対面)	9:30~16:50	・地域の課題解決に向けた具体策について 講師:高田 佐介
2022年12月17日(土) (対面)	9:30~16:00	・新人教育プログラム 講師:松井 邦夫
2023年1月21日(土) (対面)	9:30~15:00	・スーパービジョンのモデルセッション 講師:海部 久美

#### 4) 社会福祉士の倫理綱領・行動規範を学び実践につなげる研修会

開催日：2022年12月4日（日）13：30～15：15

会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパスエポック立命21 3階 K309

テーマ：社会福祉士の倫理～ソーシャルワーカーとしての実践から～

講師：中田 雅章 氏

公益社団法人日本社会福祉士会副会長・中田社会福祉士事務所、認定社会福祉士

参加者：37人

#### 5) 全国研修担当者会議への参加

2022年5月15日（日）（オンライン開催）

出席者 磯崎研修委員

2022年9月24日（土）25日（日）（オンライン開催）

出席者 磯崎研修委員、山下研修委員

#### 6) 近畿ブロックとの調整

近畿ブロック研修委員会への参加

2023年2月24日（土）（オンライン開催）

出席者 木村研修委員長

## 2. 社会福祉専門団体・行政・社会福祉士養成校協議会等との連携

### (1) ソーシャルワーカー団体の連携推進

滋賀県内ソーシャルワーカー3団体（滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県精神保健福祉士会、滋賀県社会福祉士会）の情報交換・情報共有と合同研修の企画のためにグループLINEをつくとともに、オンラインで会議を開催しました。

#### ① 3団体会議

[第1回]

開催日：2022年7月21日（木）19:00～20:30

会場：ZOOM（オンライン）

[第2回]

開催日：2022年9月1日（木）19:00～20:30

会場：ZOOM（オンライン）

[第3回]

開催日：2023年2月21日（木）19:00～20:30

会場：ZOOM（オンライン）

#### ② 3団体研修会の開催

開催日：2023年2月25日（土）14:00～16:30

会場：県立長寿社会福祉センター

テーマ：「契約」から取り残されるクライアントの支援～実践から考える地域包括ケア～

内容：基調講演 野田智子（JA愛知厚生連 江南厚生病院 患者支援室長）  
シンポジウム

尾崎史（NPO法人あさがお理事長）【社会福祉士会】

齋藤誠一（救護施設ひのたに園長）【精神保健福祉士会】

谷由紀子（淡海ふれあい病院）【医療ソーシャルワーカー協会】

参加者：46人

### (2) ソーシャルワーカーデー関連事業の開催中止

- ・例年、「海の日」（2022年7月18日）の前後に開催する滋賀県内ソーシャルワーカー3団体（滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県精神保健福祉士会、滋賀県社会福祉

士会) 共催の「ソーシャルワーカーデー」は、一昨年から、コロナ禍により開催できていません。

### (3) 行政・他団体・機関等との協力・連携

#### 1) 介護職員人材育成・確保対策連絡協議会への参画

滋賀県の介護職員の育成と確保を目的に、各種団体等により構成された協議会に参画し、滋賀県としての方向性や取り組み等の検討を行っています。昨年度より、滋賀県の介護の魅力発信やイメージアップを図るための催しとして、「しがけあ」を通して、様々な取り組みを行ってきました。インターネット内のサイトも充実していますので、一度ご覧ください。(https://shigacare.fukushi.shiga.jp/)

2022年12月10日(土)にイオンモール草津で「第2回 しがけあフェスタ」が開催され、構成団体の一員として参画しました。滋賀県社会福祉士会では、魅力発信部会で協議を重ね、デジタルアトラクション「Asobeats」を実施しました。滋賀県社会福祉士会単体での実施が費用的に困難であったため、他団体から協賛金を募り、共同開催を行いました。

#### ①介護職員人材育成・確保対策連絡協議会

2022年7月14日(木)

令和4年度第1回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会(ハイブリッド開催)

2023年3月20日(月)

令和4年度第2回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会(ハイブリッド開催)

#### ②滋賀県介護の魅力等発信部会

2022年6月3日(金)

令和4年度第1回滋賀県介護の魅力等発信部会(ZOOM開催)

2022年9月30日(金)

令和4年度第2回滋賀県介護の魅力等発信部会(ZOOM開催)

2022年11月18日(金)

厚生労働省補助事業 介護のしごと魅力発信サミット(ZOOM開催)

2023年2月20日(月)

滋賀県介護の魅力発信部会 滋賀レイクス打合せ(ZOOM開催)

2023年3月30日(木)

令和4年度第3回滋賀県介護の魅力等発信部会(ZOOM開催)

#### ③イベント連絡調整会議

2022年7月14日(木)

令和4年度第1回イベント連絡調整部会(ZOOM開催)

2022年8月23日(火)

令和4年度第2回イベント連絡調整部会(ZOOM開催)

2022年9月28日(水)

しがけあマンガストーリー取材(ZOOM)

2022年9月29日(木)

イベント連絡調整部会コア会議(草津)

2022年10月4日(火)

令和4年度第3回イベント連絡調整部会(ZOOM開催)

2022年10月16日(日)

イベント調整部会「しがけあ」広報活動(大津ウカルちゃんアリーナ)

2022年10月24日(月)

イベント調整部会「しがけあフェスタ」現地下見・打合せ(イオンモール草津)

2022年10月31日(月)

令和4年度第4回イベント連絡調整部会(ZOOM開催)

2022年11月30日(水)

令和4年度第5回イベント連絡調整部会(ZOOM開催)

2022年12月10日(土)

しがけあフェスタ(イオンモール草津)

#### ④滋賀県社会福祉士会魅力発信部会

2022年7月14日(木)

令和4年度第1回滋賀県社会福祉士会魅力発信部会(書面開催)

2022年8月18日(木)

令和4年度第2回滋賀県社会福祉士会魅力発信部会(ZOOM開催)

2022年10月24日(月)

令和4年度第3回滋賀県社会福祉士会魅力発信部会(イオンモール草津)

2022年10月31日(月)

しがけあフェスタ“Asobeats”打合せ(ZOOM開催)

2022年11月18日(金)

令和4年度第4回滋賀県社会福祉士会魅力発信部会(ZOOM開催)

2022年12月9日(金)

しがけあフェスタ前日準備(イオンモール草津)

2022年12月29日(火)

令和4年度第5回滋賀県社会福祉士会魅力発信部会(ZOOM開催)

#### 2) しが介護の職場合同入職式実行委員会

介護業界のイメージアップと、滋賀県内で就職した職員の定着を目的に、介護関係の職場に入職した職員につきまして、毎年、滋賀県全体で入職式を開催しています。

今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、ハイブリッド形式にて2022年5月12日(木)に式典及び研修会が開催されました。第1部の式典では、滋賀県知事からの激励、メッセージカードの贈呈、新入職者代表の決意表明が行われ、第2部では、講演&新入職員交流会として、講師に石本淳也先生(KAIGO PRiDE 理事)を迎え、介護の魅力について、ご講演と交流会の進行をしていただきました。また今年度は新たな試みとして、福祉業界のメンバーで構成された音楽等活動グループのチームエンパワメントによるライブも開催されました。当事業は毎年6月末までを1期として事業を進めています。

2022年4月28日(木)

令和4年度第4回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会(ZOOM開催)

2022年5月12日(木)

令和4年 しが介護の職場合同入職式及び研修会開催(ハイブリッド開催)

2022年6月6日(月)

令和4年度第5回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会(ZOOM開催)

2022年10月5日(水)

令和5年度第1回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会(ZOOM開催)

2022年12月1日(木)

令和5年度第2回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会(ZOOM開催)

2023年2月14日(火)

令和5年度第3回「しが介護の職場合同入職式」実行委員会(ZOOM開催)

2023年3月27日(月)

令和5年度 しが介護の職場合同入職式研修講師打合せ(キラリエ草津)

#### 3) 滋賀県介護・福祉人材センター運営委員会

介護・福祉人材の確保・定着支援・ネットワークづくりの推進及び情報共有、滋賀県介護・福祉人材センターの事業を効率的かつ円滑にするとともに、機能強化に向けた意

見交換の場として委員会が設置され、滋賀県社会福祉士会としても当委員会に参画しています。

2022年8月25日(木)

第1回介護・福祉人材センター運営委員会(滋賀県長寿社会福祉センター)

2023年3月20日(月)

第2回介護・福祉人材センター運営委員会(滋賀県長寿社会福祉センター)

### 3. 広報委員会の活動の推進

「みんなで笑顔になる仕事」というキャッチフレーズのもと以下の事業を計画し、特に、年度内の広報誌の発行を目標に、各種の活動を進めました。

#### 1) 広報紙(はと・めーる)の発行

本会および様々な社会福祉士の活動について、また社会福祉士として知っておく必要のある社会課題等、そして、会員の交流の一つのツールとなるように、年度内の広報紙(はと・めーる)発行に向けて準備(取材や原稿作成等)を進めて、2023年3月に第12号を発行することができました。(会員への配布は2023年4月になりました。)

#### 2) ホームページ・オフィシャルブログの管理運営

ホームページについては、研修や事業の通知・募集はバナー化して掲示していく事で周知を図ることができました。

広報誌ははと・めーると同様に、色々な社会福祉士の活動について広く周知を図る内容を取り入れたいと考えて進め、まずは、広報誌をホーム・ページへ掲載することとしました。

ブログ「滋賀県社会福祉士会のひろば」については、研修事業・ブロック活動情報等を中心に迅速な当会の活動についての情報提供を行えるように役員・事務局・各委員会及びブロック担当者との連携を図りながらサイトの管理運営に努めました。

#### 3) 本会の紹介パンフレットの刷新や啓発グッズの作成

パンフレットの刷新に向けての検討をしました。

#### 4) 広報委員会の開催・委員の活動

広報委員の募集を広く行い、2名の新メンバーに加入いただき、10名のメンバーで活動を行うことができました。2回の広報委員会を開催し、適宜、LINEやメールを活用して、情報交換や連絡等を行いました。

#### 5) 滋賀県介護の魅力等発信部会との連携

滋賀県介護のしごと魅力発信事業の同部会と連携を図りながらの活動は、今年度は具体的なものにはなりませんでした。

#### 6) 活動経過

2022年7月9日(土)	第1回広報委員会「はと・めーる内容案の検討 他」
2022年10月8日(土)	2022年度基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲへの取材
2022年11月26日(土)	会長・副会長への取材(懇談会) 於: 社会福祉法人六心会
2022年12月4日(日)	日本社会福祉法人中田副会長への取材
2023年1月22日(土)	第2回広報委員会「はと・めーる内容・編集について 他」
2023年3月	広報紙(はと・めーる第12号)発行

### 4. 災害対策支援委員会の運営

県内各福祉関係団体とともに大規模災害発生時、当会のネットワークや会員のエンパワメントを活かした活動を行うことを目的として発足しています。今年度は、当会の災害対策支援委員会にて、また、災害時に活動できる福祉専門職養成研修など、近畿ブロック各府県士会と連携を深めています。

2021年4月1日に滋賀県と滋賀県災害派遣福祉チーム（DWAT）の協定締結を行っていません。昨年度末に各協定締結団体に、DWAT 要綱等改正についての意見ヒヤリングが行われ、2022年4月1日に滋賀県災害派遣福祉チーム設置運営要綱が改訂されました。

滋賀県災害派遣福祉チーム（DWAT）の設置が、滋賀県の災害対策として重きを置いているところであり、当会としても DWAT チーム員養成に積極的な呼びかけを行っています。現在、滋賀県社会福祉士会の 21 名の方が DWAT チーム員として登録をされています。

2022年8月29日（月）

令和4年度滋賀県災害派遣福祉チーム（DWAT）にかかる意見交換会

2022年10月16日（日）

令和4年度滋賀県総合防災訓練災害福祉支援ネットワーク本部設置・運営訓練

2022年11月28日（月）

令和4年度滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議（滋賀県危機管理センター）

2023年2月7日（火）

滋賀県社会福祉士会災害対策支援委員会（ZOOM 開催）

2023年3月12日（日）

都道府県社会福祉士会 災害担当者会議（ZOOM 開催）

## 5. 地域単位の組織化

活動の一層の活性化を図るため、ブロック代表を中心に自主的な研修や交流を進め、福祉圏域を単位とするブロック活動の推進を行いました。

### 1) 高島ブロック

開催日 2022年9月16日（金）

テーマ 「確定申告・税について学ぼう」

会場 今津東コミュニティセンター

講師 税理士 丹治 健一 氏

### 2) 湖北・湖東ブロック

開催日 2022年9月18日（日）

テーマ 「社会福祉士と倫理綱領について」

会場 彦根勤労福祉会館

講師 副会長 尾崎 史

### 3) 甲賀ブロック

開催日 2022年11月15日（火）

テーマ 「わたしとソーシャルワーク」

会場 甲賀市まちづくり活動センターまる一む

講師 会員 島田 一子

### 4) 湖南ブロック

下記のとおり開催予定でしたが、大雪のため2023年7月に延期となりました。

開催日 2023年1月24日（火）

テーマ 事例検討とグループワーク

会場 ウィングプラザ栗東

講師 会員 淵田 麻里子

## 6. 新規入会の推進

30歳未満の社会福祉士有資格者の入会を促進するために、2022年度から全国都道府県社会福祉士会で入会金と初年度の会費を免除しています。

本会においても、会費に関する規程を改正してこれに取り組み、活動の紹介や入会呼びかけのメッセージの入ったパンフレット等を活用し、あらゆる機会をとらえ、本会活動の周知を図りました。

## 7. 基金の運営

これからも増大する滋賀県民の社会福祉に関するニーズに的確に応え、会の発展と将来に向けて、利便性の高い、情報管理等のセキュリティにも配慮した長期的活動の基盤機能を備えた社会福祉士会の事務所を確保する必要があるほか、成年後見活動において、困難事例についての組織的な対応により適切な後見活動が行えるような体制整備を検討する必要があることから、各会員が、会を通して受ける報酬、講師謝礼等からの寄付により設置している2つの基金の拡充に取り組みました。

### ①事務所整備基金

将来的な会員入退会管理や会費事務等に備えるとともに、新生涯研修制度や認定社会福祉士制度に対応する生涯研修センターの機能を持つなど事務管理、会議運営、研修体制すべてに対応するための機能を備えた事務所整備に取り組むため、資金準備の寄付金の募金活動を、国会20周年を契機として2012年度から開始し、目標額を400万円に設定し取り組んでいます。

基金残高 1,732,822 円 (2023年3月31日現在)

### ②成年後見体制整備基金

ばあとなあの活動における報酬が付与されない事例に対する会員活動費の補填や法人後見実施のために、各会員の判断による寄付により創設する基金。主に、ばあとなあの活動報酬等を対象に各会員からの寄付申し出により積み立てました。

基金残高 5,319,812 円 (2023年3月31日現在)

## 8. 事務局体制の整備・充実

公益社団法人移行に伴い、適正かつ透明な事務局運営を目指して取り組みを進めます。

### 1) 事務局通信の発行

定期発送に合わせ、毎月発行を行いました。

### 2) 公益社団法人に対応した事務処理体制の確立

滋賀県総務部総務課の指導も受けながら、公益法人の基準に則った運営に努めました。

## 9. 近畿ブロック社会福祉士会との連携事項

[代表者会議]

2022年4月17日(土) 奥村会長・横田事務局長出席 オンライン開催

2022年6月18日(土) 奥村会長出席 オンライン開催

2022年8月21日(日) 奥村会長・横田事務局長出席 オンライン開催

2023年2月16日(木) 奥村会長・横田事務局長出席 オンライン開催

2023年3月18日(日) 奥村会長出席 オンライン開催

[近畿ブロック研修・研究大会]

近畿6府県において毎年開催している近畿ブロック研究・研修大会については、本年度奈良県にて開催とし、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインによる開催としました。

開催日 2023年2月11日(土)～12日(日)(オンライン配信期間は2月26日(金)まで)

テーマ 「ともに考え、ともに歩む、伴走型支援 ～みんなとなら(奈良)できる!誰ひとり取り残さない社会を目指して～」

内容 シンポジウム、基調講演、研究・実践発表

【査読委員会】

[第1回] 2022年9月10日(土) オンライン

[第2回] 2022年10月15日(土) オンライン

委員 奥村 昭、安田 誠人

## 10. 公益社団法人日本社会福祉士会との連携事項

## (1) 総会への参画

通常総会 2022年6月18日(土) オンライン開催

## (2) 各種委員会活動への参画

### 1) 都道府県会長会議 2021年9月3日(土) オンライン開催

奥村会長出席

### 2) 都道府県ぱあとなあ連絡協議会 2022年10月29日(土) オンライン開催

欠席

### 3) 全国生涯研修委員研修会議

2022年5月15日(日)(オンライン開催) 磯崎研修委員出席

2022年9月24日(土) 25日(日)(オンライン開催)

磯崎研修委員、山下研修委員出席

## (3) 中央研修等への会員派遣

### 1) 第8期虐待対応専門研修～アドバイザーコース～

2022年7月17日(日)～18日(月・祝) オンライン開催

竹村理事、長橋会員、若林会員出席

### 2) 倫理綱領・行動規範講師養成研修

2022年12月25日(日) オンライン開催 井上会員、坂本会員出席

## 11. 総会・理事会の開催

### (1) 総会の開催(対面開催)

#### 1) 2022年6月11日(土)(通常総会)

出席者: 427名(出席36名・委任状42名・書面表決者349名)

報告事項 2021年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業報告について

第1号議案 2021年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会決算の承認について

第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会定款の改正について

第3号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会懲戒規則の制定について

第4号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会ぱあとなあ滋賀運営規則の制定について

連絡事項 2022年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会行事予定について

#### 2) 2022年12月4日(土)(臨時総会)

出席者: 384名(出席19名・委任状43名・書面表決者322名)

第1号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会役員選出規則の改正について

第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会役員報酬規則の改正について

第3号議案 社団法人滋賀県社会福祉士会正会員の入会に関する規則の廃止について

第4号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会入会金及び会費に関する規則の改正について

#### 3) 2023年3月25日(土)(臨時総会)

出席者: 385名(出席23名・委任状362名)

報告事項1 2023年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画について

報告事項2 2023年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会予算について

連絡事項1 2023年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会年間行事予定について

### (2) 理事会の開催(オンライン開催)

[第1回] 2022年4月27日(水)

協議事項

①委員の推薦について

②共生社会推進委員会委員募集について

- ③第 33 回全国大会（2025 年度開催）について
- ④会員よりの提案について
- ⑤災害時の福祉避難所における人的支援にかかる緊急連絡先等について
- ⑥事務局非常勤職員の時給について（時給をあげる協議）
- ⑦事務局職員募集条件について（事務局の在り方を含めた検討）
- ⑧ぱあとなあ滋賀設置運営規則について

**[第 2 回] 2021年 5 月 16 日（月）**

- 第 1 号議案 2021 年度事業報告（案）について
- 第 2 号議案 2021 年度決算報告（案）について
- 監査報告
- 第 3 号議案 定款の改正について
- 第 4 号議案 懲戒規則の制定について
- 第 5 号議案 ぱあとなあ滋賀設置運営規則の制定について
- 第 6 号議案 通常総会の開催について
- 第 7 号議案 入会者の承認について
- 協議事項
- ①気象警報発令時の本会事業の対応について
- ②事務局職員の募集について
- ③滋賀県に対する予算等要望について

**[第 3 回] 2022年 6 月 22 日（水）**

- 第 1 号議案 入会者の承認について
- 協議事項
- ①総会決議事項の周知について
- ②委員の推薦について
- ③理事会議事録開示請求への対応について
- ④共生社会推進委員会について
- ⑤倫理綱領・行動規範に関する学習会の開催について
- ⑥公益法人役員賠償責任保険について

**[第 4 回] 2022年 7 月 27 日（水）**

- 第 1 号議案 入会者の承認について
- 協議事項
- ①委員の推薦について
- ②規則・規程の整備・改正について
- ③社会保険労務士への相談体制の整備（顧問契約）について
- ④後援名義の使用承認について
- ⑤「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」総会・研修会への参加について

**[第 5 回] 2022 年 8 月 24 日（水）**

- 第 1 号議案 入会者の承認について
- 協議事項
- ①委員の推薦について
- ②ぱあとなあ滋賀運営委員の選任について

- ③基礎研修における聴覚障害者の受講受け入れについて
- ④規則・規程の整備・改正について
- ⑤倫理綱領・行動規範研修講師養成研修受講者の推薦について
- ⑥役員賠償責任保険の加入について

**[第6回] 2022年9月28日(水)**

報告事項

- ①会長及び副会長の職務執行状況報告について

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- ①委員の推薦について
- ②2022年度上半期事業報告の作成について
- ③日本社会福祉士会役員候補者選出について
- ④役員賠償責任保険への加入について
- ⑤2023年度県委託事業について
- ⑥規則・規程の整備・改正について

**[第7回] 2022年10月17日(月)**

第1号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会役員選出規則の改正について

第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会役員報酬規則の改正について

第3号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会正会員の入会に関する規則の改正について

第4号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会入会金および会費に関する規則の改正について

第5号議案 臨時総会の開催について

協議事項

- ①社会福祉士の倫理綱領・行動規範に関する研修会の開催について
- ②スーパービジョン運営体制について
- ③2023年度県委託事業について
- ④地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修について
- ⑤規則・規程の整備・改正について
- ⑥後援名義の使用申請について

**[第8回] 2022年11月22日(火)**

第1号議案 入会者の承認について

第2号議案 2022年度上半期事業報告について

協議事項

- ①委員の推薦について
- ②社会保険労務士との顧問契約について
- ③臨時総会・研修会について
- ④ばあとなあ苦情案件について

**[第9回] 2022年12月28日(水)**

第1号議案 2022年度第一次補正予算について

第2号議案 選挙管理委員の選出について

協議事項

- ①2023年度事業計画・予算の作成について
- ②2023年度基礎研修の開催について
- ③基礎研修における聴覚障害者の受講受け入れについて
- ④臨時総会・通常総会の開催日程について

- ⑤役員選挙の公示について
- ⑥ホームレス支援に関するアンケート協力について

**[第10回] 2023年1月25日(水)**

- 第1号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会就業規則の改正について
- 第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会非常勤・臨時職員等就業規則の改正について

協議事項

- ①2023年度事業計画・予算編成について
- ②30周年記念事業について
- ③諸規程改正について
- ④役員改選・役員体制について
- ⑤事務局体制について
- ⑥臨時総会について
- ⑦2024年度予算・制度に関する提案募集について

**[第11回] 2023年2月22日(水)**

報告事項

- ①会長及び副会長の職務執行状況報告について
- 第1号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会2023年度事業計画について
- 第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会2023年度予算について
- 第3号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会臨時総会の開催について

協議事項

- ①公益社団法人滋賀県社会福祉士会2023年度年間行事予定について
- ②後援等の依頼について
- ③委員の推薦について

**[第12回] 2023年3月22日(水)**

協議事項

- ①臨時総会について
- ②2023年度5月理事会の開催について
- ③委員の推薦について